

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
外国語	中国語	2	3年次・I 2群	選択必修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
高校生からの中国語（白帝社）		なし		20名を上限とし、希望者が多い場合は国際教養系列の生徒を優先する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
必要最低限の文法及び単語を習得するとともに、発音練習を徹底し、基本的な日常会話を使えるようにする。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
基本的な中国語の読み書きや語彙、文法の知識を習得し、場面に応じて適切に使用することができる。	日常的な話題について、情報や考えなどを中国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	言語やその背景にある文化に対する関心を持ち、自律的、主体的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	第1課	母音・子音の発音	4月	・基本的な母音、声調、子音について、読んだり書いたりできるようにする。 ・正確な発音で自分の名前を言える。	1 2 3
		第2課	自分の名前			1 2 3
		第3課	自己紹介	5月	・身近な単語を使って自己紹介する。	1 2 3
		第4課	住んでいる場所	6月	・基本的な文法を習得する。	1 2 3
	2 学 期	第5課	起きる時間	7月	・数字を表す言葉を覚える。	1 2 3
		第6課	趣味	9月	・語彙を増やす。	1 2 3
		第7課	自己紹介		・発音練習を重視し、単語や文法を増やす。	1 2 3
		第8課	場所を表す疑問詞を用いた会話文	10月	・疑問文の作り方を習得する。	1 2 3
		第9課	方法を表す疑問詞を用いた会話文	11月	・発音練習をさらに強化する。	1 2 3
		第10課	買い物をするときの表現		・中国を訪れた時に使う表現を習得する。	1 2 3
	3 学 期	第10課	過去形	12月	・過去形を習得する。	1 2 3
		3	1年間の復習		・1年間のまとめをする。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○基本的な中国語の読み書きができる。 ○語彙、文法の知識を習得している。 ○場面に応じて適切に使用することができる。		○日常的な話題について、中国語で情報や考えなどを理解することができる。 ○日常的な話題について、中国語で情報や考えを伝えることができる。		○言語やその背景にある文化に対する関心を持ち、理解を深めようとしている。 ○中国語を用いて自律的、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。
	手 段	・定期考査		・定期考査 ・発表		・発表 ・課題提出

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	単元末、学期末ごとに評価を行い、年次末に総括を行い評価する。
学習上の留意点	・間違いを恐れず、授業中にできるだけたくさん発音したり、話したりする。 ・実際に言語を使えるようになるには、計画的に復習をすることが不可欠である。 ・他国の文化を尊重し、積極的に理解しようとする姿勢が大切である。	